

## 臨床研究

### 「病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究」について

筑波大学附属病院 救急・集中治療科では、標題の臨床研究を実施しております。概要は以下のとおりです。

#### ① 研究の目的：

日本では年間6万人を超える心臓突然死が発生していますが、その社会復帰率は未だに数%と低値です。本研究では、実態と効果が明らかでない病院外心停止例に対する搬送先病院の治療体制、低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを前向きに登録・分析し、搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など病院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療戦略を検討することを目的とします。本研究は日本救急医学会学会が主導する研究で、全国的に実施される多施設共同研究です。

#### ② 研究代表施設：京都大学 観光安全保険機構 健康科学センター

研究代表者（管理責任者）：京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター 教授 石見 拓  
実施施設：日本救急医学会所属している日本全域の救命救急センターや救急医療機関

#### ② 研究対象者：倫理委員会承認後 から 2022年3月31日まで

筑波大学附属病院救急外来で病院外心停止診療を受けられた患者様

#### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後 から 2023年5月27日まで

#### ④ 研究の方法：

病院の診療記録から、病院外心停止患者様に関する治療経過を、データベースとして登録します。本研究は診療記録の確認調査のみであり、患者様に対して直接の利益・不利益はありません。

#### ⑤ 試料・情報の項目：病院前救護記録、病院到着後記録、予後

#### ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 下條信威

#### ⑦ 本研究の利益相反について

本研究は、分担施設である当院においては大学の教育研究経費を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究は筑波大学附属病院倫理審査委員会にて審議され承認を受けて実施しております。

#### ⑧ 保有する個人情報に関する利用目的

利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。得られたデータは研究代表施設である京都大学へ提供されます。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

#### ⑨ 本研究へ参加を希望されない場合

患者様や御家族（御遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

#### ⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：救急・集中治療科 小山泰明、下條信威、井上貴昭

電話・FAX：029-853-3081（救急・集中治療科 平日9:00~17:00）